

# かけはし



- 創立60周年を迎えて
- 看護のチカラ(新生児集中ケア認定看護師)
- 病院祭を開催しました
- リレーコラム
- がん診療連携拠点病院としての取り組み
- 送迎バス 三原線の時間が変わりました

## CONTENTS



## 創立60周年を迎えて

尾道総合病院  
病院長 杉田 孝

尾道総合病院は昭和 32（1957）年に尾道市古浜町に尾道農協病院として開設されました。その後地域の皆様に「農協病院」として愛されてきましたが、平成 23（2011）年に現在の平原の地へ新築移転しました。近代化された病院として、人材、施設、医療機器などを整備し続け、2017 年 11 月に 60 周年を迎える事が出来ました。

現在、当院はベッド数 393 床、29 診療科を有し、常勤医師 102 名、看護師 528 名、療法士や検査・放射線技師など専門職 128 名、事務職 150 名、警備や食事の外部委託 200 名、総計 1,100 名以上のスタッフを有しています。

しかしながら、当院が属する広島県 7 つの二次医療圏の 1 つである尾三地域医療圏（尾道市、三原市、御調町）では、人口の減少と共に医師の減少が著明となり、言わば医師過疎化が進行している昨今です。

このような社会環境の中で、当院はがん、救急、小児救急、周産期母子医療、災害医療などを確保し、今後も皆様に最善の医療を提供できるよう、各医師会や、行政等様々な医療関係者と共に専心精励いたす所存です。

患者の皆様から愛されて信頼を得られるような病院でありたいと思っています。



新生児集中ケア認定看護師  
船尾 加奈子



新生児集中ケア認定看護師  
佐藤 朋美

## 新生児集中ケア 認定看護師

新生児集中ケア認定看護師は、急性期にあるハイリスク新生児の治療・療養経過中に生じる身体的及び心理社会的有害事象に対して予防的観点から働きかけ、発達促進的、個別的なケアを実践します。

今回は、新生児蘇生法について話をしたいと思います。

新生児蘇生法は、周産期・新生児医療にたずさわるすべてのスタッフが修得し実践できることを目的として、2007年7月から開始されています。

出生後胎盤での循環が絶たれ、胎児は新生児として胎外生活に適応した呼吸や循環の流れに劇的に切り替わります。85%の児は出生後10～30秒のうちに自分で呼吸を開始しますが、その他の新生児は次の割合で呼吸や循環が安定するためになんらかの助けを必要とします。

- ★10%の児は皮膚の乾燥と刺激で呼吸がはじまります
- ★3%の児は陽圧換気で呼吸がはじまります
- ★2%の児は呼吸の管を使い呼吸補助が必要です
- ★0.1%の児は胸骨圧迫（心臓マッサージ）や薬剤の投与が必要です



赤ちゃんを適切に救命するためには、小児科医師だけでなく分娩にかかわるすべての医師・助産師・看護師が標準的な新生児蘇生法の理論と技術に習熟しておくことが重要とされています。

（参考文献：新生児蘇生法テキスト）

当院でも小児科の木原医師・岩瀧医師を中心に、NICUや産科病棟で新生児蘇生法の勉強会やシミュレーションを行い、日々トレーニングを行っています。

また、1～2回/年、日本周産期・新生児医学会公認の講習会を開催しています。



# 第6回 笑in祭



10月28日に毎年恒例の笑in祭（病院祭）を開催しました。日頃お世話になっている地域住民の皆様にご感謝の気持ちを伝え、病院をより身近に感じて頂くことを目的に、たくさんのイベントを実施しました。

メインステージでは広島県出身である元プロボクサーの竹原慎二さんのトークショーを行いました。またJA共済連のCMソングでお馴染みの姉妹音楽ユニットMebiusさんと、日比崎小学校合唱団の皆さんでコラボ曲を披露し、会場は大いに盛り上がりました。その他、院内・屋外でもたくさんのイベントを行い、800人を超える大人からお子様にご来場いただき、大盛況のうちに終了することが出来ました。

今回の「笑in祭」は6回目となりましたが、台風22号の影響もあり、初の雨にての開催でした。しかしながら、総勢100名を超えるボランティアスタッフや関係者の皆様のご協力と、足元の悪い中、多くの地域住民の方がご来場していただいたおかげで、何事も問題なく盛大な病院祭を行うことができました。

これもひとえに皆様のご協力によるものと深く感謝いたします。（人事課 浜本 潤）





臨床研修医 伊崎 悠 (いざき ゆう)

人リレーコラム

尾道総合病院にはテニスやバドミントンなど様々なサークルがあり活動していますが、院内にとどまらず医師会などの単位で活動しているグループもあります。私は尾道市医師会の先生方が主催しているソフトボール部に所属しています。練習は1カ月に3回程度で、その全てに参加できるわけではないですができるだけ参加するようにしています。私は尾道に来て一年目のころはソフトボール大会に出てもロクに打てない状況でした。しかし小学校でソフトボールをやっていたこともあり、練習に参加するようになってからは少しチームに貢献できるようになってきました。先日、東部地区医師会対抗のソフトボール大会があり、福山尾三地区などから8チームが出場しトーナメント戦で争いました。尾道医師会のチームには尾道総合病院からも7人が出場しました。しかし医師会対抗ソフトボールには年齢・性別ハンデのシステムがあり若手が多い尾道はハンデが大きく苦戦しました。チーム尾道はカーブのように上位から下位打線まで繋ぐこと意識しなんとかハンデを覆し決勝まで進みましたが、相手は15歳の年齢ハンデとゴリゴリのウインドミル投法で速球を投げるエースを擁した強豪松永地区医師会で、残念ながら最後までハンデを克服できず敗れました。医師会のソフトボール大会には医師だけでなく看護師さんやPTさんなども多く参加される大会があります。また、応援があると元気が出ますので時間があれば是非見に来て下さいね。



もっと知ってほしい!

# がん診療連携拠点病院としての取り組み

～ 病理研究検査科 ～

## ● “がん” が “がん” じゃないかを決定しているのは誰？

“がん”を確定診断するのは、外科、内科などのあなたの主治医ではありません。画像検査(超音波・CT・MRIなど)によって異常が発見されたとしても、腫瘍マーカーの検査をしても、内視鏡の検査をしても「“がん”の疑いがあります。」とは言えますが、「“がん”です。」とは言えません。

確定診断するには、疑わしい組織を採取して、顕微鏡で調べる必要があります。そしてそこに「“がん”細胞」が映ったら「“がん”確定」ということになります。この診断をしているのが「病理医」です。

病理研究検査科では以下の資格を持つメンバーが“がん”診療に携わっています。

### 認定病理医

日本病理学会が認定する病理の専門医です。広島県の認定病理医は30名程です。

### 細胞診専門医

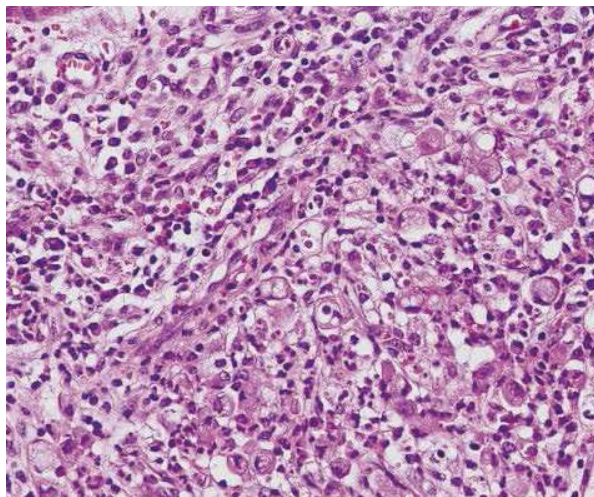
日本臨床細胞学会が認定する、細胞診断を行う専門医です。

### 国際細胞診検査士

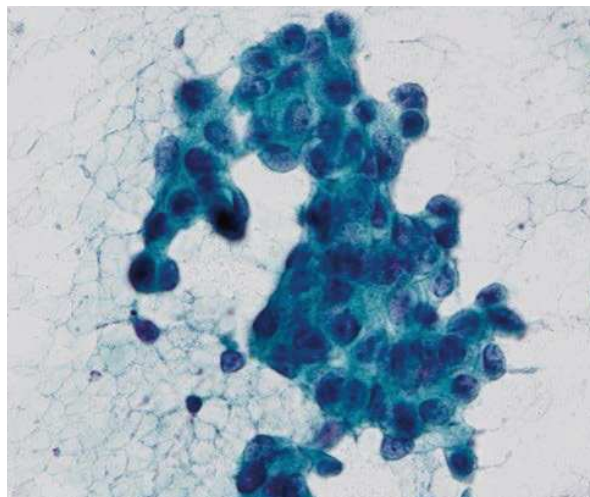
細胞検査士は臨床検査技師が日本臨床細胞学会によって認定される資格です。さらに国際細胞学会で認定されると国際細胞検査士として海外で活動できます。

### 認定病理検査技師

日本臨床検査技師会によって、標準化された病理組織標本作製技術・専門的知識、病理解剖介助業務および病理部門のマネジメント能力等を総合的に評価し認定された資格です。



細胞診



病理組織

## ～臨床研究検査科～

臨床研究検査科で行っている検査には、血液や尿などの成分を分析する検体検査、細菌の培養や抗生物質の感受性を調べる微生物検査、心電図・肺活量・脳波や超音波など直接人体を調べる生理検査があります。

“がん”診療の検査の流れとしては、まず“がん”の疑いを見つけます。たとえば「便に血が混ざっていないか?」といった検査があります。血が混ざっていれば、胃がんや大腸がんが出血の原因かもしれないとなります。そして精密検査をして“がん”の存在を突き止めていきます。

続いて治療となります。治療によって“がん”が取り除かれたのか、縮小したのか、はたまた効果がなかったのか、など検査して治療効果を見ます。

また治療による身体への影響を管理するために様々な検査項目が調べられます。

“がん”が治った後も再発の可能性もあり、定期的に検査を行う必要があります。

当院では多くの検査項目を院内で測定することにより、より迅速に診療に対応しています。

### トピックス

尿1滴で“がん”の有無が識別できるという研究が話題になっています。

まだ研究段階ですが、「C・エレガンス」という体長1ミリほどの「線虫」に、“がん”のニオイを嗅ぎ分ける能力（嗅覚）があることが分かりました。1滴垂らした尿の匂いに線虫「C・エレガンス」が好んで寄って来れば「“がん”の疑いあり」、嫌って遠ざかって行けば「“がん”の心配なし」ということとなります。精度は95.8%、従来の腫瘍マーカーの精度は10～20%であり、驚異的な精度です。

“がん”の有無を調べるのみで、どこにあるか?は特定できませんが、1回の検査ですべての“がん”が検出可能。“がん”がないとなれば余計な検査をしなくて済みます。

しかもわずか数百円という手軽さ。

近い将来“がん”の検査が変わるかもしれません。



C・エレガンス  
“がん”を見つける線虫です

## 尾病ニュース 「瀬浪医師が救急功労者表彰を受賞されました」

このたび、当院病院長代行の瀬浪正樹医師が総務省の平成29年度救急功労者表彰式において総務大臣表彰を受賞しました。



救急功労者表彰とは、救急業務の推進に貢献し、社会公共の福祉の増進に顕著な功績があった個人及び団体を表彰するものです。

瀬浪医師は、地域の救急隊員のみならず、広島県消防学校での救急隊員教育にも積極的に携わり、県内外で開催される各種研修会においても中心的役割を担い、救急救命士処置拡大に伴う教育についても、圏域を問わず広く病院実習を受け入れるなど、救急業務の拡充・高度化に大きく貢献されたという理由により、このたびの受賞となりました。

# JA尾道総合病院送迎バス 三原線 の時間が変わりました

## 平成29年11月20日(月)より新ダイヤ開始

### ダイヤ変更

バス停	1便	2便	3便	4便	5便	6便	
三原駅 ↓ 病院	JR三原駅西口	7:40	9:05	10:25	11:35	13:25	14:28
	三原港棧橋前	7:44	9:09	10:29	11:39	13:29	14:32
	寿町バス停	7:47	9:12	10:32	11:42	13:32	14:35
	糸崎駅前バス停	7:49	9:14	10:34	11:44	13:34	14:37
	青木バス停	7:49	9:14	10:34	11:44	13:34	14:37
	糸崎神社前バス停	7:50	9:15	10:35	11:45	13:35	14:38
	木原小下バス停	7:54	9:19	10:39	11:49	13:39	14:42
	尾道総合病院	8:10	9:30	10:50	12:00	13:50	14:53

### ダイヤ変更

バス停	1便	2便	3便	4便	5便	6便	
病院 ↓ 三原駅	尾道総合病院	8:25	9:45	11:00	12:50	14:00	14:58
	内畠バス停	8:36	9:56	11:10	13:00	14:10	15:08
	木原小下バス停	8:37	9:57	11:11	13:01	14:11	15:09
	糸崎神社前バス停	8:41	10:01	11:15	13:05	14:15	15:13
	青木バス停	8:42	10:02	11:16	13:06	14:16	15:14
	糸崎駅前バス停	8:43	10:03	11:17	13:07	14:17	15:15
	寿町バス停	8:45	10:05	11:19	13:09	14:19	15:17
	JR三原駅西口	9:03	10:13	11:26	13:16	14:26	15:24

◎月～金曜日に運行しています。(祝日、休院日を除く)

### 病院理念

- 私たちは、生命の尊さと人間愛を基調に力を合わせて病める人々を守ります。
- 私たちは、地域の基幹病院としての自覚を持ち、常に新しくより高い知識の習得と技術の研鑽に励みます。

### 基本方針

- 農業協同組合員によって創設されたJA尾道総合病院は、その組合員及び地域すべての住民のために保健・医療・福祉・介護活動を通じて、医師会と連携し地域に貢献します。

### ACCESS

- 車** 尾道バイパス・平原インターから約3分
- バス**
  - 尾道駅(山陽本線)尾道駅前-JA尾道総合病院前下車 (おのみちバス:尾道大学線・新駅線・JA尾道総合病院線の3路線)
  - 新尾道駅(新幹線)新尾道駅-尾道駅前下車(乗り換え) (中国バス・おのみちバス) 尾道駅前-JA尾道総合病院前

#### 利用者専用シャトルバスのご案内

- 三原方面 JR三原駅西口発(所要時間約30分・途中の停留所7か所) 発車時間 7:40▶9:05▶10:25▶11:35▶13:25▶14:28
- 松永方面 松永農協会館前発(所要時間約30分・途中の停留所9か所) 発車時間 7:40▶9:05▶10:05▶12:20▶13:20

※詳しくは総合案内にてお尋ねいただくか、病院ホームページをご覧ください。

#### 駐車場のご案内

駐車料金▶2時間無料、その後1時間ごとに100円  
診察を受けられた方は無料となります。

